

1. 秋刀魚回游調査

継続事業として実施したがこれ迄の調査の結果で沖縄沿岸及近海でも秋刀魚は産卵している事が確認されたので今後は回游経路や游泳戸及び回游の最盛期を究明したいものである。

第一次試験

- 1) 期間 1958年11月13日から11月15日迄(3日間)
- 2) 使用船舶 備船, 漁集丸 3.0 ton
- 3) 調査海域 沖縄島南部沿岸
- 4) 事業の概要

1958年11月13日泊港を出帆して表面水温の分布状況を調査しながら、港川沿岸に向つた途中の測温結果は泊港外で25℃を示し糸満沖合で25.2℃、喜屋武岬沿岸25.1℃港川沿岸の操業地点で24.9℃のいずれも高温帯が残流しているので低温を好む秋刀魚の来游には時季的に早いものと考へられた。然し乍ら10月下旬から11月の中旬にかけて秋刀魚の大群が鮪に追われて中城湾内に入り込んで来たと言ふ情報を与那原漁協員から聴取したので今年初の試みとして調査に乗り出した訳だが今回は捕獲も発見する事もできなかった。

5) 操業状況

月 日	11月13日		備 考
位 置	N 26° - 05' E 127° - 47'		流 刺 網 漁 獲 なし
投 網	始 18時53分	終 19時00分	
揚 網	始 06時20分	終 06時40分	
投網方向	SSE		
数 量	20枚		
水 温	24.9℃		
潮 流	ESE		
流 速	約0.3節		

6) 気象海況

月日	時刻	位 置	天候	雲量	風位	風力	波浪	ねり	水色	水温	比重	潮流	流速
11月 13日	06.20	N.26° -05" E127° -47'	BC	7	E	II	II	I	III	24.8	26.13	ESE	約 0.3節